

市区町村名	神奈川県平塚市	担当部署	産業振興部 産業振興課
		電話番号	0463-21-9758

1 取組事例名

・6万アカウント達成！キャッシュレス決済でコロナ禍の事業者支援！

2 取組期間

・2020年度～（継続中）

3 取組概要

コロナ禍で急激に落ち込んだ地域の消費を活性化（地方創生臨時交付金）

2020年度

感染症対策と消費活動の両立を図るため、スマホアプリを使った独自のキャッシュレス決済のみでプレミアム商品券事業「ひらつか☆スターライトポイント」を実施（加盟店1,101件、販売店251件）
当初発行額（約8億6千万円）完売後、追加（6億5千万円）販売も2時間以内で完売
本事業に係る加盟店・販売店の費用負担はゼロ

2021年度

同アプリに、電子マネー類似機能、ふるさと納税の返礼ポイント機能を追加

2022年度

市制90周年、第70回湘南ひらつか七夕まつりに合わせ、アプリをアップデート

4 背景・目的

背景

2020年4月、コロナ禍の経済対策としてビジョンを掲げ、制度設計をした。

ビジョン

コロナ禍で移動制限のある場合のビジネス継続を可能とするため、明るい前向きなメンタリティでそれぞれのステークホルダーが協力して持続可能な社会を構築する。

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、「新しい生活様式」の実践例の1つである「キャッシュレス決済」を推進しつつ、コロナ禍における消費喚起を図り市内経済の活性化を後押しすることを目的に、スマートフォンを活用してプレミアムポイント（ひらつか☆スターライトポイント）を発行する。

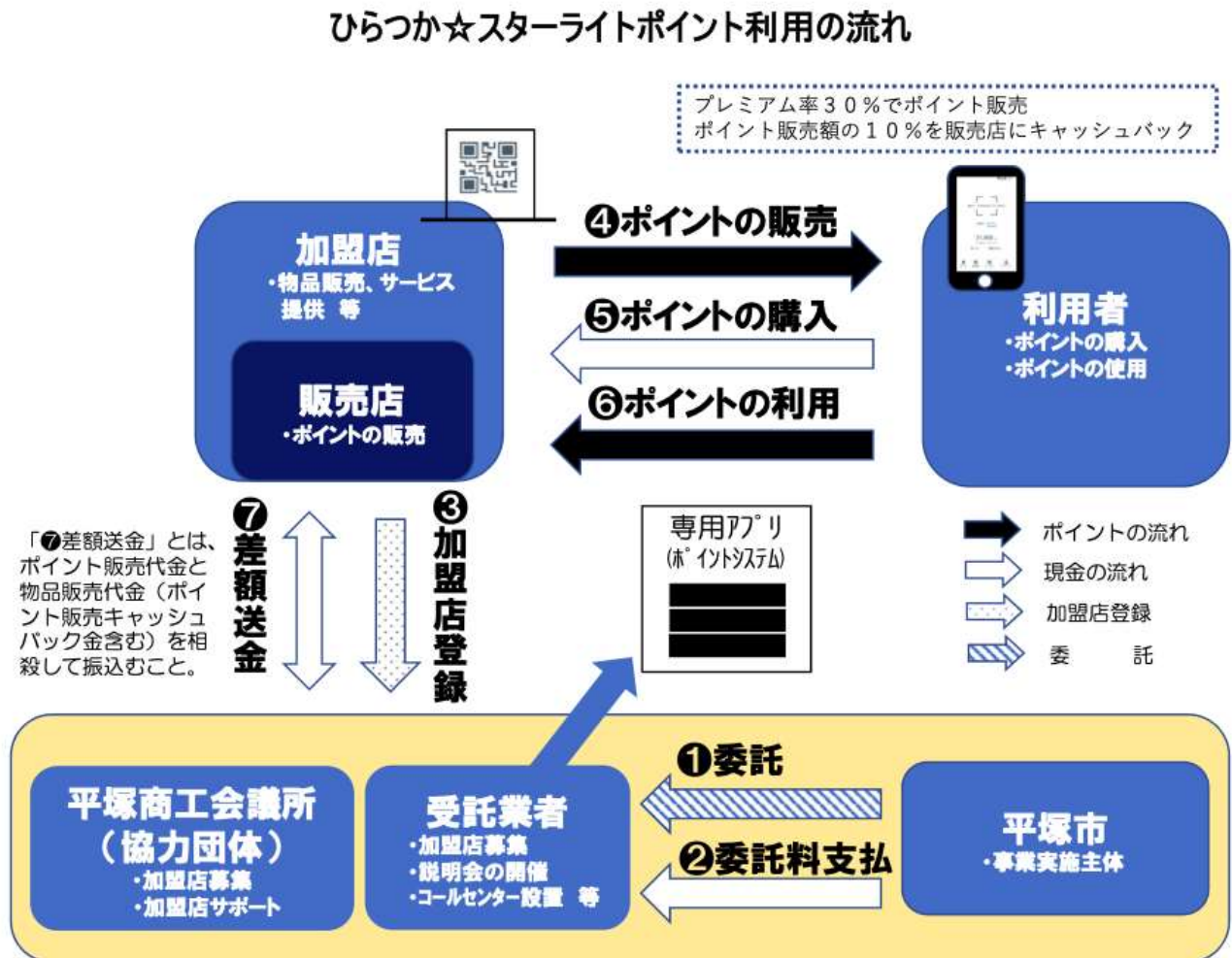
5 取組の具体的内容

2020 年度、制度設計

地域経済キャッシュレス化推進事業「ひらつか☆スターライトポイント」について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を原資とするコロナ禍の事業者支援策として検討。紙のプレミアム商品券に比べ、接触機会を減らせるスマホ決済での実施を念頭に置き、図1の仕組みを構築した。

実施にあたっては、この仕組みを実現できる機能を有する決済サービスを採用した。

図1. 電子版プレミアム商品券「ひらつか☆スターライトポイント：HSLP」（2020 年度）



事業者向けの取組

- ・ HSLP の制度及び加盟店・販売店の管理システム説明会の開催
- ・ 加盟店・販売店の募集、飛び込み営業（市内各地域の店舗、商店会等へ市職員、商工会議所職員、受託業者が分散して勧誘）
- ・ 事業の終盤に、ポイントの利用状況等に関するオンライン勉強会の開催

利用者向けの取組

- ・ 事業説明会の開催（中央公民館、オンライン併用）
- ・ スマホアプリの使い方サポート（市役所、商工会議所、移動相談所、YouTube、コールセンター等）
- ・ 告知（記者発表、広報ひらつか、市ウェブ、twitter、FACEBOOK、ポスター、ローカル紙等）

2021年度 アプリに機能を追加して実施

2020年度、追加販売でも購入できなかった市民からの要望が多く、2021年度のスターライトポイント（プレミアム商品券）は市民限定で販売。これに伴い、2020年度のアプリに、スターライトマネー（電子マネー類似機能）とスターライトマーレ（ふるさと納税の返礼ポイント）を追加することで、市外の方の参加方法を拡大して事業を実施（図2. 参照）。なお、2020年度との変更点は図3のとおり（キャッシュバックを10%から5%へ引き下げ）。

図2. 機能の追加



スターライトポイント	
プレミアム	あり 20%
使用期限	2021.12.31日
買える人	平塚市民
購入方法	アプリから申込→販売店で現金でチャージ
購入上限	1人20,000円 ※20,000円で24,000ポイント付与
使えるお店	市内1,000店舗超

スターライトマネー	
プレミアム	なし チャージ金額を電子マネーのように使用可能 行政への協力等対するポイントもあり
使用期限	2022.3.31日
買える人	居住地問わず
購入方法	販売店で現金でチャージ
購入上限	1人50,000円 ※繰り返しチャージできる
使えるお店	スターライトポイントと同じ

スターライトマーレ	
ふるさと納税	市外の方からの平塚市へのふるさと納税に対して、寄附金額の30%のポイントをお礼の品として用意
使用期限	2022.3.31日
もらえる人	平塚市外在住の方
寄附金上限	なし
使えるお店	市内170店舗超（飲食店中心（地場産基準））

図3. 2020年度、2021年度の実績

	令和3年(2021)年度	令和2年(2020)年度
発行額(プレミアム含む)	948,000,000円	1,516,671,000円
プレミアム率	20%	30%
1人あたり購入上限	20,000円	30,000円
参考) 上限額購入時プレミアム	4,000円	9,000円
買える人	平塚市民のみ	市民限定販売 後 一般販売(市外もOK)
申込方法	アプリから申込 →購入権付与→販売店でチャージ	市民限定販売: アプリから申込 一般販売: 販売店で直接チャージ
販売店 (現金でチャージできるお店)	約280	約250
キャッシュバック	販売金額の5%	販売金額の10%
加盟店 (使えるお店)	約1,000	約1,100

2021年度新規に実施したその他の取組

・ おともだち紹介キャンペーン

キャッシュレス人口を増やすため、スターライトポイント購入者が、未購入者（おともだち）に「ひらつか☆スターライトポイントの購入申込の追加受付」があることを紹介し、そのおともだちが20,000円購入したら、紹介者のアプリに1,000マネーをプレゼントするキャンペーン

- ・ マネーチャージキャンペーン

スターライトマネーを普及するため、期間中、1回で1万円以上のスターライトマネーをチャージした方、先着3,500名に、2,000マネーを11月中旬に事務局からプレゼント

- ・ モニターキャンペーン

行政からの情報が届きにくい20代を中心とした若い世代に情報が届くよう、モニターを募ってスターライトマネーで買い物等した内容をSNSで発信してもらう企画

- ・ アプリ利用者アンケート

協力いただいた方の中から抽選で2,500名に1,000マネーを事務局からチャージ

- ・ 行政ポイント付与事業

行政の各種施策に協力いただいた方へ、マネーをチャージ

- ▶ マイナンバーカードを取得した方等にスターライトマネー追加を付与（マイナンバー推進課）
- ▶ ひらつか CO2CO2（コツコツ）プラン（「温室効果ガス」の1つである二酸化炭素（CO2）の排出を普段の生活の中で減らすために、平塚市が提案する市民行動プラン）参加者に抽選でスターライトマネーを付与（環境政策課）

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

2020年度

<中長期的なビジネスモデルの変革>

コロナ禍が中長期化した際に事業を継続しやすくするため、市内事業者と消費者、行政のコミュニケーション・プラットフォームの構築を目指した

<デジタル化>

- ・ これまで、紙のプレミアム商品券事業を実施していたが、コロナ禍であるためキャッシュレス決済（スマホアプリの二次元バーコード決済）のみでプレミアム商品券事業を実施（全国的にも稀なケース）
- ・ 大手の既存のキャッシュレスサービスではなく、独自のシステムを導入し、ローカルな経済圏を構築
- ・ スマホアプリとしたことで、COCOAなどのコロナ対策アプリの併用を促進
- ・ ポイント（電子版プレミアム商品券）購入予約をデジタル（アプリ）のみで受付
- ・ スマートフォンの操作に不慣れな方に対して、地域包括支援センターや市役所、商工会議所の窓口、移動相談所等で手厚くサポート
- ・ YouTubeで決済方法の解説
- ・ Zoomを使った加盟店と事務局の勉強会開催
- ・ Googleフォームでアンケートを実施（対象：加盟店、アプリ利用者）

<レバレッジを効かせる>

- ・ 事業者（販売店）が顧客とコミュニケーションをとる機会を増やす
（例）HSLP事業を顧客に告知→顧客のアプリ入手をサポート→アプリに自店のクーポンを配信→顧客が自店でポイントをチャージ→顧客に次回買い物時に使えるクーポンを渡す→顧客が複数回買い物に来る
- ・ 頑張る事業者をポイント販売額に応じた10%キャッシュバックで支援
□これまで、プレミアム商品券の販売は商工会議所や信用金庫が担っており、事業者（加盟店）はプレミアム商品券で買い物をされなければメリットがなかった。

■今回、事業者（販売店）はポイントを販売することで現金（ポイント販売額の10%）が入るとともに、販売したポイントを自店で使ってもらいやすくなった。

- ・ 市民限定の予約販売と、誰でも買える先着順販売に分けてポイントを販売することで、市内でのお金の循環のみならず、市外からの通勤・通学者等の利用を促進
- ・ プレミアム率30%で、一人30,000円分まで購入可能にすることで、日用品のみならず、家電や制服などの高額商品を取り扱う事業者の参加を促進

2021年度

<将来的な地域通貨化を視野に入れた様々な機能の実証実験>

- ・ 限られた予算で多くのアプリユーザーに利用してもらうため、スターライトポイントのプレミアム率（30%→20%）と一人当たり購入上限額（30,000円→20,000円）を引下げ
- ・ プレミアムなしの電子マネー類似機能を追加し、キャッシュレス決済の定着を目指す。
- ・ ふるさと納税の返礼品としてマーレ取扱店（加盟店の内、総務省の地場産品基準を満たす店）で使用できる電子ポイント「スターライトマーレ」を追加し、アプリユーザーの増加を目指す。
- ・ 庁内の様々な施策を推進するインセンティブとしてスターライトマネーを庁内各課が活用する。

7 取組の効果・費用

■消費者の利便性の向上

- ・ 密を回避し、市内各所でポイント購入が可能となった。※紙の商品券は限定店舗（金融機関）のみで購入可能であった。
- ・ アプリに最新の情報が届く。
- ・ 多額の現金を持たずに買い物が可能となった。
- ・ 1円単位で利用できた。
- ・ 紛失等のリスクが紙の商品券に比べて軽減された。
- ・ 紙の時は買えなかった働く世代・子育て世代が利用（グラフ1参照）
- ・ 買い物の履歴が容易に確認でき、管理しやすくなった。 など

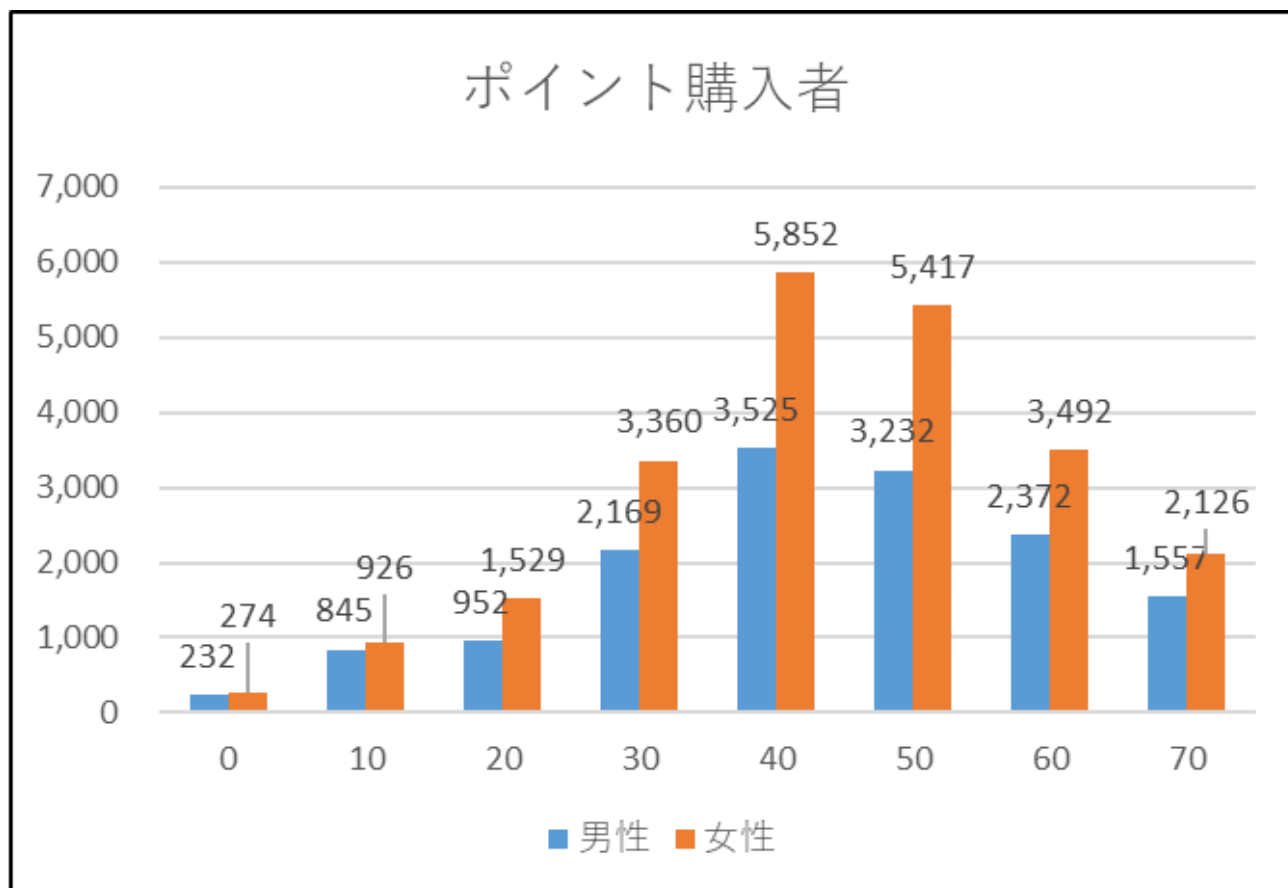
■事業者の事業の効率化

- ・ 現金管理の手間、コストの削減
- ・ 情報の分析、利活用による売上の拡大
- ・ 商品券の管理・換金作業が不要
- ・ アプリ内でのお知らせ等利用で新規顧客獲得に寄与

■平塚市のメリット

- ・ 登録店舗数が過去最多、使用店舗数も大幅に増加（特に、一度でも買い物をされた店舗の割合が94%超となり、紙の商品券との差が際立った：表1参照）
- ・ 完売時の追加発行など、柔軟な対応が可能
- ・ 利用者への情報伝達も容易
- ・ 膨大なデータ（約68万件の取引データ：2020年度）を取得、施策に活かせるように研究

グラフ1. 2021年度ポイント購入者数内訳



※100歳以上の参加が一定数あるが、年齢入力段階での誤りも一定数あるものと想像される

※グラフは～70代男女までで表示

表1. プレミアム付き商品券事業の過年度比較

	R3	R2	R1	H27
目的	キャッシュレス決済推進 消費喚起、コロナ対策	キャッシュレス決済推進 消費喚起、コロナ対策	消費喚起 生活支援	消費喚起 生活支援
媒体	電子(スマホ)	電子(スマホ)	紙	紙
プレミアム率	20%	30%	25%	20%
発行予定額	948,000,000円	1,516,671,000円	825,000,000円	828,000,000円
実発行額	* 922,110,000円	1,516,671,000円	386,300,000円	828,000,000円
使用額	920,319,076円	1,515,502,867円	385,090,500円	825,472,000円
上記使用率	99.8%	99.9%	99.7%	99.7%
加盟店数	1,009	1,101	890	848
加盟店のうち 使用店舗数	989	1,035	352	443
上記使用率	98.0%	94.0%	39.6%	52.2%

※未発行分については、スターライトマネーとして市中に流通済

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

2020年度（初年度）は、スマホアプリのみでプレミアム商品券事業を実施することに対して、相当数の意見が寄せられた。これに対しては、

1. コロナ禍での事業者支援が主目的であり、生活支援が主目的ではないこと
2. 感染症対策として、紙幣の受け渡しを含む接触機会の低減を目指していること
3. 紙の商品券ではできないスマホアプリの利便性

などについて丁寧に説明した。

2021年度も同意見を一定数いただいているものの、初年度の比にならないほど減少した。

なお、当初は事業者からも不安の声があったが、初年度の末には加盟店から「経済がまわっている気がした」、「もう紙ではやりたくない」などの好意的な意見が寄せられ、商店会連合会会長が新聞のインタビューで「挑戦してみてよかった」という趣旨の発言をするなど、事業者側はキャッシュレス決済に手応えを感じている。

9 今後の予定・構想

プレミアム付き商品券事業は毎年度実施する性格のものではないため、持続可能な地域通貨となるよう、庁内各課と連携して取り組んでいきたい

10 他団体へのアドバイス

デジタル化の入口

- ・本事業を通じて、高齢者がスマートフォンを持つようになった事例が多数ある。
- ・本事業を契機として、他のキャッシュレス決済サービスも導入した店舗の事例がある。

キャッシュレス決済でのプレミアム商品券事業は、今後のデジタル化の入口として取り組みやすいと考えます。

11 取組について記載したホームページ

アーカイブ 令和2年度 ひらつか☆スターライトポイント

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page33_00095.html

アーカイブ 令和3年度 地域経済キャッシュレス化推進事業 ひらつか☆スターライトポイント等

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page33_00105.html

地域経済キャッシュレス化推進事業 ひらつか☆スターライトポイント等（令和4年度）

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page33_00078.html

平塚市ビジネスケースプロジェクト

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page-c_01625.html